



諫高だより

ふじ
藤むらさき
紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

『諫高に対するそれぞれの想い』

副校長 大久保 眞 明

「旧制諫早中学第14回卒業生の想い」

体育館右前方に掲げてある「志」の書は、旧制諫早中学校第14回卒業生一同から卒業60周年記念としていただいたものである。大きいので体育館に入る度にまず目につくし、本校の校訓「自立創造」に繋がることから君たちの中にもこの書に励まされた人も多いはずである。

それから10年が過ぎ、卒業70周年記念としてまた書をいただいた。ともに同じ書家の作品である。附属中学校の開校、創立100周年と、諫高にとって記念となる年にである。

この3月、リニューアルした図書館棟入口の壁に設置することになったその書「偶成」(朱熹(晦庵)作)の内容は、

「少年易老学難成 一寸光陰不可輕 未覚池塘春草夢 階前梧葉已秋聲」

大意：月日がたつのは早く、自分はまだ若いと思っいてもすぐに老人になってしまう。それに反し学問の研究はなかなか成し遂げたい。だから、若いうちに寸暇を惜しんで勉強しなければならない。



贈呈式の旧制中代表と校長

まさに君たちに向けたぴったりの言葉である。卒業後70年を経ても、君たちに書を送り続ける先輩達の母校諫高への想いは実に熱いし、後輩である君たちへの期待が大きいのである。

「諦めない心で成果を出した第63回生の想い」

今年の離・退任式には、例年にもまして第63回生を中心に多くの卒業生が集まってくれた。第63回生は私立大学合格者もいるが、国立大学201名、公立大学54名、合わせて255名が現役で国公立大学に合格した。卒業生に占める割合は実に82.5%。脅威的な数字であり九州No.1に輝いた。国公立大学への進学希望が圧倒的に高い本校の歴史の中でも、現役での合格者・合格率は過去最高であり、6年連続長崎県公立高校No.1は快挙といえる。第63回生おめでとう。

これは、「高い志、すなわち将来の進路目標を高く持ってその実現に向かって日々努力してきた」第63回生と、「一人ひとりを大切にしながら、真面目に努力する生徒を一生懸命にサポートする」先生方との、二人三脚で歩んできたチーム諫高の成果である。ここに至るまでには、部活動との両立、学校開放日の学習会、ベランダ学習、休日返上の取組等々、言葉では言い表せない日々の努力の積み重ねがあったことを忘れてはならない。その努力の積み重ねが、諦めない心と感謝の念を育て、先生方の熱い指導を信頼し、厚いカバンが御守とまで言い切り受験場までも持って行く諫高生に合格通知をもたらした。先日、卒業生交流会で代表生徒が語ったことすべては第63回生の総意であり、すべてをまとめると『諫高道を究めよ!』という、後輩である君たちへの期待を込めた熱い想いであった。

「時代を超え、次代を拓く諫高への想い」

3月26日、新築された第3棟(中学棟)の落成式が行われた。森同窓会会長・森PTA副会長ご出席のもと合格者登校で登校した児童と保護者・教職員が参加した。石部邦昭校長は挨拶の中で、長崎県立諫早高等学校附属中学校においても道徳性や知性、体力を磨くために、諫早高校の「志の教育」、「文武両道」を実践していくことを力強く話した。また、附属中学校校舎の象徴となる時計塔をはじめ、グラウンドピアノなどが創立100周年記念事業の一つとして同窓会から贈られたことを披露した。これを受けて新入生代表が「この恵まれた環境の中で一生懸命に勉強して、将来、人の役に立つことができるようがんばっていきたい。」と力強く応えた。テープカットの後、校舎の扉が開かれ、新入生が保護者とともに緊張した面持ちで入館し、校舎を見学した。教室や設備を自分の目で見、肌で感じた新入生一人ひとりが、新しい校舎で学べる喜びと4月からの附属中での生活に覚悟を新たにしたに違いない。



落成式で挨拶をする校長

これで、いよいよ中高一貫教育がスタートし、また、創立100周年に向けての取組が本格化する。附属中生徒・諫高生への期待はますます高まってくるだろうが、皆さんは必ずや先輩や周囲からの熱い想いに応え、大きく飛躍してくれることを確信している。

創立100周年記念事業 校内マラソン大会

総合優勝	2年5組
準優勝	2年1組
3位	2年2組
特別賞 (全員出走)	1年2組 1年3組



多くのTV取材のもとで開会式



女子マラソンスタート 先導車(村上)



駅伝-懸命につなぐ襷-

平成23年2月9日(水)、諫早湾中央干拓地において第47回校内マラソン大会が開催されました。今年大会は、創立100周年記念事業の一環として、本校OBで今春『箱根駅伝』で活躍した青山学院大学の小嶺篤志、國學院大学の中山翔平・寺田夏生の3選手を招待して開催されました。絶好のマラソン日和に恵まれ、持久走の部は男子8.8km、女子4.4kmの周回コースで熱戦が繰り広げられました。また、今回初めて学級対抗の駅伝を種目化し、身近に生徒が応援できることもあって大きな盛り上がりを見せました。走り終えた生徒にはPTAの方々から熱々の「豚汁」をふるまっていただきました。



男子マラソンスタート直後



最後まで走り抜く級友を応援



駅伝の部 優勝の2-5



順位を申告する選手



PTA大活躍



今回、迷うことなくゴールした
國學院寺田選手



陸上部女子優勝 山本芽依



走り終えて
友達と
豚汁タイム



一般男子 優勝 北村雄春

陸上部(男子)

優勝	相浦 亮(2年)	28分22秒
準優勝	瀬川 大貴(2年)	28分24秒
3位	山口 有輝(1年)	28分29秒

一般男子

優勝	北村 雄春(2年)	32分03秒
準優勝	松尾 郁弥(2年)	32分23秒
3位	高柳 隼人(2年)	32分54秒

陸上部(女子)

優勝	山本 芽依(2年)	14分41秒
準優勝	花田 遥香(2年)	14分43秒
3位	菅 瑞希(2年)	14分52秒

一般女子

優勝	谷口 真紀(2年)	19分01秒
準優勝	岩下 亜希(2年)	19分20秒
3位	島田みゆき(2年)	19分32秒

クラスマッチ

3月15日(火)、本年度最後のクラスマッチが行われました。実施種目はバレーボール男女、バスケットボール男女、バドミントン男女、サッカー(インディアカ)男子、ドッジボール女子で、クラス一丸となって最後の学校行事を楽しみました。



若さでアタック!!



ジャッジも真剣モード



男子バドミントン・バスケの熱戦



思わず力が入るドッジボール



女子バレーの盛り上がり



級友からの応援に感謝

あふれる笑顔と歓声

2学年理数科校内発表会

2月3日(木)、2年生の発表会が行われました。最優秀賞は「キッチン de ペーパーマッシュルームの研究」、優秀賞は「御書院で水耕栽培の研究」「ワラからリトマス紙をつくる研究」「Y系高温超伝導物質に関する研究」でした。



ペーパーマッシュ班



プレゼンに力が入る男子

第12回文化部合同祭

3月20日(日)諫早文化会館において、第12回文化部合同祭が開催されました。

この合同祭は本校で活動している15の文化部が、年に1回合同で1年間の成果を発表する会です。午前10時より中ホールと展示ホールで作品展示を、午後1時より大ホールではパソコン部、放送部の発表、ギター・マンドリン部、吹奏楽部の演奏を披露しました。また、茶道部のお茶会が2階和室で開かれました。



県高総文祭美術展出品の力作



茶道部「お点前」披露



パソコン部の体育大会分析



麗しい木管3重奏の音色



卒業生とスイングするブラスバンド



侍ブルーで奏でるギター・マンドリン部



科学部展示・説明



文学部・書道展示



「感謝」と「絆」再確認—感動と涙の式典—

第63回卒業証書授与式



呼名する長池学年主任 普通科代表古賀智大君 古川美月さん涙の「答辞」 熱い想いが込められた校長「式辞」

平成23年3月1日、第63回生309名の卒業証書授与式が本校体育館で挙行政されました。石部邦昭校長は、式辞の中で、第63回生の高校生活を振り返るエピソードを紹介しました。「体育大会での十段ピラミッドの完成秘話」と「センター試験会場のトイレ清掃」です。どの話も感謝の心を忘れずに最後まで粘り強く努力した第63回生に向けた石部校長の熱い想いが込められていました。式場にかけてくださった多くの人たちに祝福されて、309名の第63回生は3年間の思い出と未来への志を胸に学舎をあとにしました。

平成22年度 離・退任式 たいへんお世話になりました。



離退任される先生方を断腸の思いで紹介する校長

離・退任される先生方

- 大久保眞明 副校長(大村特別支援学校校長)
- 式見 正秀 先生(退職・再任用で西陵高校)
- 石山 雅晴 先生(長崎西高校教頭)
- 糸山 淳 先生(五島高校)
- 中村 孝之 先生(佐世保西高校)
- 小森 修一 先生(上五島高校)
- 坂上 史 先生(島原翔南高校)
- 峯 悦子 先生(対馬高校)
- 北川 和広 先生(県埋蔵文化センター課長)
- 吉田 圭美 先生(希望が丘高等特別支援学校)



卒業生からの胸上げに「感無量」



☆大勢の卒業生、出席ありがとう!

内もな学校行事

4月	5月	6月
4/ 8(金) 始業式・開校式・入学式	5/ 2(月) 交通講話	6/ 3(金) 高総体総合開会式
4/11(月) 新入生テスト・校内実力(2・3年)	5/ 9(月) 挨拶運動(～5/10)	6/ 4(土) 高総体
4/12(火) 校内実力(3年)・中高対面式	5/13(金) 中間考査(～中5/14、高5/16)	6/ 7(火) 代休
4/13(水) 高校新入生宿泊研修(～4/15)	5/14(土) PTA総会・学年PTA	6/11(土) 市中体連
4/15(金) 遠足(2年・3年)	5/17(火) 学方セミナー(1年～5/18)	6/15(水) 県理数科課題研究発表会(諫早)
4/21(木) 中学新入生宿泊研修(～4/22)	5/28(土) 県総文祭連合音楽会	6/22(水) 中学期末考査(～6/24)
4/22(金) 理数科対面式	5/30(月) 高総体代休	6/29(水) 高校期末考査(～7/4)